

愛知の土地改良

第175号

平成24年9月1日



夏祭り

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2011
全国地方新聞社連合会会長賞
一宮市立大和東小学校3年 川口 結唯さんの作品

Land improvement of Aichi

□ 第1回理事会・支会長会議・参与会開催	2
□ 叙勲	3
□ 愛知県における農業用水を利用した小水力発電の推進体制について	3
□ 全国農業用水小水力発電推進協議会設立、関係省庁等に要望書提出	4
□ 産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会	5
□ 愛知県農業用水小水力発電推進協議会設立総会開催	5
□ 平成24年度農地・水保全管理支払交付金の取組状況	6
□ 水土里情報システム操作研修会の開催	7
□ 平成24年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体(32期生~36期生)打合せ会議開催	7
□ あいちの農業用水展	8
□ 平成24年度農業農村整備事業広報活動イベント開催	8
□ 農業農村整備と広報を考えるワークショップ開催	9
□ 愛知県農林水産部合同職場研修(生物多様性研修)の講師に本会職員派遣	10
□ 段本幸男先生お別れの会	10
□ 水土総合強化推進事業情報	11
□ 農政情報	12
□ 平成24年度水土里レポーター	13

平成24年度 第1回理事会開催

第1回理事会を、8月21日愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。理事会は始めに神谷会長の挨拶、続いて、参与としてご臨席の県幹部の方々を代表し、溝田大助農林基盤担当局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した下記議案は、いずれも原案どおり承認、可決された。



記

- 1 平成23年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録の承認について
- 2 平成24年度一般会計収支補正予算の専決処分について
- 3 その他
(1)第35回全国土地改良大会 沖縄大会の開催について
(2)短期(5ヵ年)事業計画の見直しについて

平成24年度 第1回支会長会議開催

第1回目の支会長会議を、7月10日愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。会議には、神谷金衛会長(岡崎支会長)、浜田一徳副会長(海部支会長)、長瀬 保名古屋支会長、恒川宣彦一宮副支会長、澤田丸四郎半田支会長、川上万一郎幡豆支会長、三浦孝司豊田支会長、小久保三夫

豊橋支会長が出席された。会議は始め神谷会長より挨拶がなされ、続いて、神谷会長を座長に選任し、議事に移った。提出した下記議案については、それぞれ、資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

記

- 1 平成23年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録について
- 2 平成24年度一般会計収支補正予算について
- 3 第35回全国土地改良大会 沖縄大会の開催について
- 4 平成24年度第1回理事会開催日程について
- 5 その他
・短期(5ヵ年)事業計画の見直しについて

平成24年度 第1回参与会開催

参与会は定款第31条「この会の業務を適切に行うため必要があるときは、参与若干人を置くことができる。」に基づき年数回開催し、諮問に応じていただいているもので、今年度、第1回目の参与会を、6月29日愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

代表し、溝田大助農林基盤担当局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した議案は理事会提出議案についてで、8月21日開催の理事会に提出する平成23年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録について、平成24年度一般会計収支補正予算の専決処分等についてが協議された。

参与会は青木章雄専務理事の挨拶の後、参与を

叙 勲

政府は平成24年4月29日付で平成24年春の叙勲の受章者を発表した。

本会会員からは太田芳郎佐織土地改良区理事長が旭日双光章の栄に浴された。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日双光章



太田 芳郎 氏
佐織土地改良区理事長

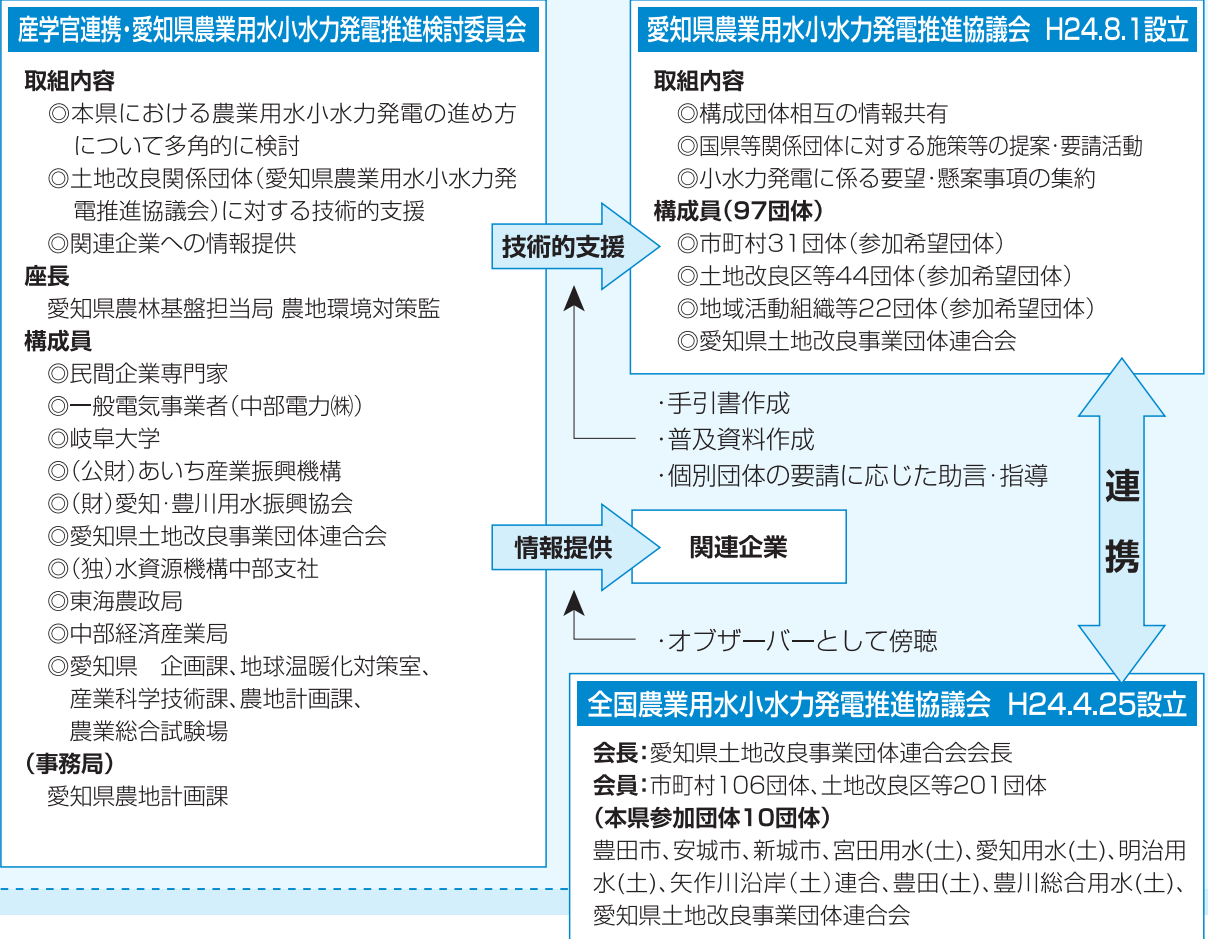
愛知県における農業用水を利用した小水力発電の推進体制について

福島第一原発の事故を契機として、再生可能エネルギーによる自立・分散型の供給システムの実現を図ることが喫緊の課題となっている。

このため、農村資源の有効活用と再生可能エネルギー供給システムの実現を図るために、愛知県における農業用水を利用した小水力発電について、総合的に推進する体制を整備する。

- 再生可能エネルギー利用促進 ○土地改良関係団体の社会貢献及び経営基盤の強化
- 県内関連産業の振興・支援 ○産学官と土地改良関係団体の協働連携により県内全域へ普及

推進体制の構築イメージ



全国農業用水小水力発電推進協議会設立、関係省庁等に要望書提出

— 神谷金衛 水土里ネット愛知会長が協議会長に選任される。 —

農業用水を活用した小水力発電を実施、または導入を検討している全国の市町村、土地改良区、県土連等が参加する「全国農業用水小水力発電推進協議会」の設立総会が、4月25日東京都において開催された。

本協議会は、農業用水を活用した小水力発電を総合的に推進し、農村地域資源の有効活用と再生可能エネルギー供給システムの実現を図るとともに、農業・農村の活性化と持続可能な社会に資することを目的に設立されたものであり、全国の307団体がその趣旨に賛同し会員となり、当日は60名(委任状除く)の出席があった。なお、愛知県からは10団体が加入している。

議事は、冒頭、規約(案)が諮られ、協議会の名称について、同種の協議会が地域ごとにあることから、「全国農業用水小水力発電推進協議会」とすることが決議された。次にブロック毎に役員が8名選出され、会長には神谷金衛水土里ネット愛知会長が選任された。

本協議会は、今後、小水力発電に関する情報の収集・調査、施策等の提案・要請活動等を行うこととし、翌4月26日には、①既存設備への固定価格買取制度の適用②適切な調達価格、調達



神谷会長挨拶



實重農林水産省農村振興局長への要請

期間の設定③河川法の許可手続の簡素化、弾力化④電気事業法の規制緩和を主な内容とする要望書を関係省庁、関係国会議員等に対して提出した。

なお、全国農業用水小水力発電推進協議会設立総会で選任された役員は下記のとおり。

全国農業用水小水力発電推進協議会 役員			
会長	神谷金衛	愛知県土地改良事業団体連合会会長	
副会長	野上憲幸	青森県土地改良事業団体連合会会長	
副会長	白倉政司	北杜市長(山梨県)	
副会長	三富佳一	新潟県土地改良事業団体連合会会長	
理事	眞野弘	北海土地改良区理事長(北海道)	
理事	西村康稔	兵庫県土地改良事業団体連合会会長	
理事	杉原義人	天神野土地改良区理事長(鳥取県)	
理事	西野一秀	鹿児島県土地改良事業団体連合会専務理事	

産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会

8月1日、愛知県農業用水小水力発電推進協議会設立総会に先立ち、13時より愛知県土地改良会館6階第1研修室において産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会が開催された。本委員会は愛知県における農業用水を利用した小水力発電について、産学官と土地改良関係団体の協働連携により県内全域へ普及し、農村資源の有効活用と再生可能エネルギー供給システムの実現をめざすとともに、県内関連産業の振興支援を図ることを目的に設置されたものであり、当日の検討委員会では取組内容についての説明及び、活発な意見交換等がなされた。



溝田農林基盤担当局長挨拶



愛知県農業用水小水力発電推進協議会 設立総会 開催

—大村秀章 愛知県知事を来賓に向かえ盛大に開催—

8月1日、愛知県農業用水小水力発電推進協議会設立総会を愛知県土地改良会館7階大会議室で開催した。

この協議会は、愛知県における農業用水を利用した小水力発電を推進することにより、再生可能エネルギーの利用促進を図ると共に、土地改良関係団体の社会貢献及び経営基盤の強化に資する目的で設立したもので、設立総会開催日時点で97団体(市町、土地改良区、農地水活動組織など)が加入している。



大村愛知県知事挨拶

設立総会は、会員62団体のほか、来賓に大村秀章愛知県知事始め多数の

方々をお招きし、始めに、神谷金衛水土里ネット愛知会長が「福島第一原発の事故を契機に、再生可能エネルギーによる自立・分散型の供給システムの実現を図るため、農業用水を利用した小水力発電の推進が喫緊の課題となった。土地改良関係団体の社会貢献、経営基盤の強化のため、協議会の設立準備を進めてきた。」と挨拶。その後、大村愛知県知事より「原発事故以降、再生可能エネルギーの役割が高まっている。小水力発電の日本一に向け、県内でどんどん具体化していく。」続いて、小林 功愛知県議会議長、森 多可志



神谷会長挨拶

次ページへ続く

東海農政局長より来賓祝辞をいただき、東海農政局、水資源機構中部支社、愛知県議会、愛知県から出席いただいた方々の紹介を行い、議事に入った。

仮議長に、川上万一郎水土里ネット矢作連合理事長が選任され、第1号議案規約案が承認された後、第2号議案役員の選出が諮られ、小久保三夫水土里ネット豊川総合用水理事長より、「会長に神谷金衛水土里ネット愛知会長、副会長に穂積亮次新城市長」との提案がなされ、満場一致で承認された。

その後、神谷会長、穂積副会長が登壇し、就任の挨拶を行った後、川上仮議長が議案審議の終了を宣し、報告事項、基調講演に入った。

報告事項は、溝田大助愛知県農林水産部農林

基盤担当局長より、設立総会開催の2時間前に開催された産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会の概要の報告があり、基調講演は、伊藤雄一若鈴コンサルタンツ株式会社技術統括部長が「農業用水を利用した小水力発電」、岡本正弘中部経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課長が「固定価格買取制度」、石村 忍水資源機構愛知用水総合管理所長が「愛知用水東郷発電所」について事例発表がなされ、設立総会を終了した。

なお、設立総会には、会員、来賓のほか、愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会の構成員、愛知県の職員、愛知県農業土木測量設計技術研究会の職員約80名余が同席した。

平成24年度 農地・水保全管理支払交付金の取組状況

平成19年度から実施してきた農地・水・環境保全向上対策(平成23年度から農地・水保全管理支払交付金)は、農地や農業用水などの資源の保全と質の向上を図ることを目的に、地域ぐるみでの共同活動や営農活動を支援するもので、平成24年3月で5年の区切りを迎えた。

平成24年度からは集落を支える体制の強化や

仕組みの簡素化を図り、平成28年度まで継続されることとなった。

愛知県においても6月末日までに317組織全ての活動組織において、市町村との協定が整い採択申請書が提出され、新たな「農地・水保全管理支払交付金」がスタートした。

◇各地域協議会における取組状況は次のとおり。

地域協議会名	共同活動支援			向上活動支援		
	市町村の数	活動組織数	面積(ha)	市町村の数	活動組織数	面積(ha)
尾張農地・水・環境保全地域協議会	7	10	371	2	2	64
一宮農地・水・環境保全地域協議会	2	19	1,506	1	1	698
海部地域協議会	6	54	3,137	4	15	1,261
農地・水・環境保全知多地域協議会	9	29	2,464	7	13	1,041
西三河農地・水・環境保全地域協議会	7	100	6,773	3	23	1,403
西尾幡豆農地・水・環境保全地域協議会	1	8	3,387	1	8	1,574
豊田加茂農地・水・環境保全協議会	1	42	2,260	1	10	778
新城設楽地域農地・水・環境保全協議会	1	22	565	1	6	230
東三河農地・水・環境保全地域協議会	4	33	4,589	3	19	1,587
合計	38	317	25,052	23	97	8,636

水土里情報システム操作研修会の開催

《初任者研修》

水土里情報システムの運営については2年目を迎え、新たにシステムを操作する初任者を対象に「水土里情報システム操作研修会」を4月10日～13日に開催した。

※主な研修内容

- 水土里情報システムの基本的な操作研修
- 農地・水保全管理支払交付金に対する活用
- 耕作放棄地の確認に対する活用
- 農地の集積における貸し手、受け手の情報に対する活用
- 作付け調査の現地確認結果に対する活用
- 土地改良区の管理施設における活用

(参加団体:38団体 参加者:96人)

《実務研修》

4月開催の研修会で利用者の要望を聞き取り、それに基づいた実務的な説明会を7月9日～13日に開催した。

※主な研修内容

- 台帳データの取り込み方法について
- 市町村担当者対象
農地・水保全管理支払交付金における活用について
- 土地改良区担当者対象
施設等の補修等履歴管理について
- JA、NOSAI、再生協議会担当者対象
耕区図の運用について

(参加団体:33団体 参加者:78人)

今後も、本システムを使って皆様の業務の効率化が図れるような内容の実務的な研修を進めて参ります。



平成24年度 土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (32期生～36期生) 打合せ会議 開催

5月9日、本会7階大会議室において平成24年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体打合せ会議を開催し、加入団体63団体86名の出席のもと次の事項の打合せを実施した。

1. 土地改良施設維持管理適正化事業実施計画

- (1)平成24年度加入土地改良施設維持管理適正化事業(36期生)の年度別実施状況調書
- (2)平成24年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画調書

2. 土地改良施設維持管理適正化事業事務手続き

3. 注意事項

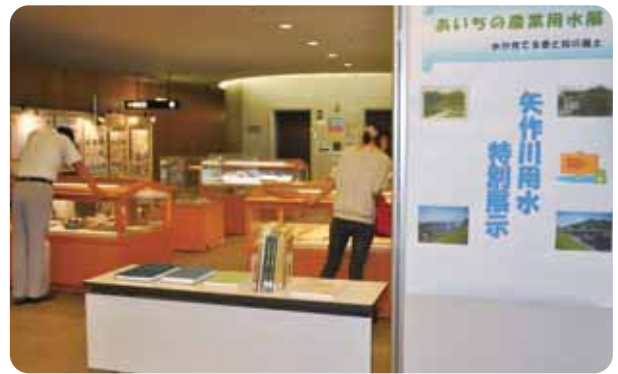
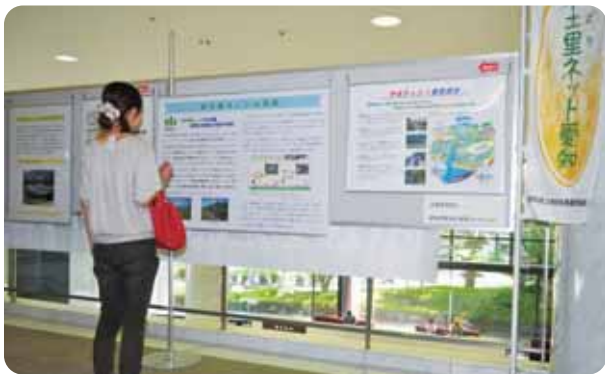
また、打合せ会議終了後、希望加入団体の個別案件の打合せを実施した。



あいちの農業用水展 ～水が育てる愛と知の風土～ 愛知県図書館で開催！

「水の週間」の期間をはさんで、7月13日から8月8日まで、愛知県の主催、水土里ネット愛知と水土里ネット矢作連合、(財)愛知・豊川用水振興協会の共催で、水が育てる愛と知の風土をテーマに「あいちの農業用水展」を愛知県図書館において開催した。

この「あいちの農業用水展」は、県下の農業用水の歴史と変遷を中心に、パネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に知らせ、関心を高めてもらおうと県内各地で開催し、昨年度に引き続き、今年度も愛知県図書館で開催した。



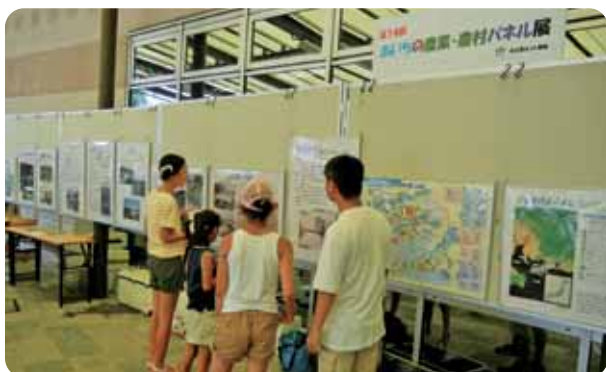
展示スペースのある2階ロビーには、松原用水、宮田用水、木津用水、明治用水、枝下用水、木曾川用水、愛知用水、矢作川用水、豊川用水に関するパネルの展示を行うとともに、今年度は西三河地域の農業を支える矢作川用水に関する資料を展示した。

夏休み期間ということもあり、図書館は1日約2,000名の来館者があり、そのうち展示コーナーには約100名(夏休みの某1日調査を実施)が訪れ、展示パネルや展示資料を興味深そうに見入っていた。常設しておいたアンケートには期間中400名の協力があり、多くの人々に農業用水の歴史や役割について理解をしてもらった。

平成24年度 農業農村整備事業広報活動イベント開催

第14回広報キャンペーン並びにあおぞら水族館開設

プロジェクト水土里(今年度は愛知県、水土里ネット愛知、水土里ネット明治用水、(財)愛知・豊



川用水振興協会)では毎年度、農業農村整備事業の重要性及び水土里ネットの役割等について子供を中心に広く一般県民に啓発するため広報活動イベントを開催している。

今年度は7月28日、安城産業文化公園デンパーク及び田んぼアート圃場において、安城市制60周年記念イベントである“すいDEN! おいDEN! カーニバル”が開催されるにあたり、デンパーク会場に水田等に生息する魚類、水生昆虫、

カメ類を水槽展示する「あおぞら水族館(田んぼの水族館)」のブースを構え、併せて、小水力発電(ピコ水力発電)のデモンストレーション及び農業用水、水土里ネットのパネル展示等を行った。

ブースでは水土里ネットの役割等を紹介したパネル、田んぼの生き物展示、また、今回は豊田工業高等専門学校環境都市工学科山下教諭のご協力により、小水力発電(ピコ水力発電)のデモンストレーションがおこなわれ、丁寧な説明に子供から大人までが興味深く聞き入っていた。また、展示を見てアンケートに答えてくれた子どもの来

場者には消しゴム等のグッズを配布した。

当日は気温35度を越える猛暑日にもかかわらず約1,000人の来場者があり、暑い中にも終始大勢の人たちで賑わいを見せていた。



農業農村整備と広報を考えるワークショップ開催

6月20日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、全国農村振興技術連盟委員長の太田信介氏(元農林水産省農村振興局長)をコーディネーターに招き、東海農政局、水資源機構中部支社、愛知県、水土里ネットの幹部や広報担当などの参加による「農業農村整備と広報を考えるワークショップ」を開催した。

ワークショップは、参加者29名が5班に分かれて始まった。

参加者は、元農林水産省幹部を前に最初のうちは緊張した面持ちであったが、太田講師のテンポのよい進行や時折発せられるウィットに富んだダジャレでどんどんワークショップに引き込ま



れていった。また、それぞれのポイントごとに、次から次へと様々な質問がなされたり、付箋を使った発想法による意見の分類を行ったり、広報の実践ドリルや整理表などを作成し発表するなどの盛りだくさんの内容に参加者たちは「一方的な研修会と違って新鮮な感じがした」「参加者全員で一つの問題を考え理解していくことができた」「講師自ら聴講者の中に入り、精力的に質疑応答を行うような形式は刺激的でよかった」などの感想が聞かれた。

今回のワークショップを通じて、広報担当者が現状より一歩ふみ出した広報を考えるうえで貴重な体験となった。



職員派遣

愛知県農林水産部合同職場研修(生物多様性研修)の講師に本会職員派遣

7月3日、愛知県三の丸庁舎8階大会議室において愛知県農林水産部職員を対象とした合同職場研修が開催された。本研修は、食と緑の基本計画2015に掲げられた取り組みである「多様な生物を育み、緑豊かな景観をもつ農村環境の創出」「里地・里山・里海における県民参加型の環境保全活動」を推進し、もって生物多様性の保全をはじめとした多面的機能の恩恵を実感できる社会の形成を図るため、生物多様性の保全に係る実践的知識及び技術等を修得することを目的としている。

今回の研修では、愛知県農地計画課からの要請により、講師として本会計画部計画課の佐藤広尚係長を派遣した。佐藤係長は、「農業農村整備事業における環境配慮」をテーマとして、ほ場整備事業における現地調査の経験を基に、農村における生物・生態系の特徴や施工例、現地調査で留意すべき外来生物と絶滅危惧生物などについて講義を行った。

このほか、愛知学泉大学現代マネジメント学部矢部 隆教授による「カメの目から見た水辺の生物多様性」についての講義も行われた。



佐藤係長



矢部教授

訃報 段本幸男先生お別れの会

4月26日、13時30分より、元参議院議員、元財務大臣政務官、全国土地改良事業団体連合会副会長故段本幸男先生のお別れ会が、東京都千代田区の花見公園において厳粛のうちに執り行われ、衆参国会議員、関係官公庁、全国各地から亡き先生の遺徳を偲んで500余名が参列し、故人との別れを惜しんだ。

土地改良事業の推進、発展に多大な貢献をされました故人の生前を偲び、ここに土地改良関係者一同、深く哀悼の意を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。



故 段本幸男先生略歴

昭和43年4月 農林省入省
平成9年7月 中国四国農政局長
平成10年7月 農林水産省退職
平成13年7月 参議院議員初当選
平成16年9月 財務大臣政務官(平成17年11月退任)
平成19年7月 参議院議員退任
平成20年4月 全国土地改良事業団体連合会副会長
平成24年3月18日 逝去(享年67)

水土総合強化推進事業 情報

Ⅱ 平成24年度愛知県換地等強化事業推進委員会 Ⅱ

6月20日、本会6階第1研修室において愛知県換地等強化事業推進委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

1. 平成23年度事業実績報告並びに収支決算
(土地改良換地等強化事業・土地改良相談業務

事業関係分)

2. 平成24年度事業実施計画並びに収支予算
(土地改良換地等強化事業関係分)
3. 遅延地区について

Ⅱ 平成24年度愛知県管理円滑化事業推進委員会 Ⅱ

5月30日、本会6階第1研修室において愛知県管理円滑化事業推進委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

1. 平成23年度実績報告
2. 平成24年度実施計画

Ⅱ 平成24年度連絡調整会議 Ⅱ

6月5日、本会6階第1研修室において連絡調整会議を開催した。愛知県農地計画課を始め各農林水産事務所建設課のアドバイザーに出席いただき、平成24年度新規加入(36期生)地区の実施計

画、平成24年度適正化事業実施計画、及び平成25年度新規(37期生)事業実施要望等について協議し、土地改良施設の維持管理、事業の拡充強化について意見交換がされた。

Ⅱ 平成24年度換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会 Ⅱ

8月22日、23日、29日、本会7階大会議室において換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会を開催した。東海農政局土地改良管理課、

名古屋法務局、愛知県農地計画課、農業振興課から講師を招き、愛知県、市町村、水土里ネット、コンサル等の換地技術者が出席した。

Ⅱ 技術力向上事業 Ⅱ

平成23年度より技術力向上事業が事業化された。水土総合強化推進事業実施要綱第2の4には、「技術力向上事業は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、土地改良区の役職員等の技術力向上のための研修を実施するものとする。」、第6の1には、地方連合会が行う技術力向上事業「地方連合会は、土地改良区の役職員等に対して農業

農村整備事業に関する技術実践研修を行うものとする。」と定められた。

今年度、東海農政局管内は、本会と水土里ネットぎふが実施することとなり、本会では、10月24日～26日の3日間、県下の市町村、水土里ネット役職員を対象に実施いたします。

再生可能エネルギーの固定価格買取制度導入に伴う賦課金について

— 農業用排水機県営移管期成同盟会からのお知らせ —

固定価格買取制度の導入に伴い、国民の皆様に対して電気料金と併せて8月分から賦課金(24年度は1kwh当たり0.22円)が徴収されることになり、土地改良施設の電気料金も一般家庭と同様に賦課金が課せられます。

～経過～

本制度が開始される前に、意見募集(パブリックコメント)において、「売り上げに基づく原単位の算定が困難な土地改良区も減免措置の対象となるよう配慮すべき」との意見が提出されました。

しかし、平成24年6月18日、経済産業省が公表した意見募集の結果では、「本措置は空洞化懸念

の強い電力多消費産業や東日本大震災の被災者を念頭に置いて規定された経緯に鑑み、対応は困難」との回答がなされた。

その後、農林水産省土地改良企画課・水資源課が経済産業省資源エネルギー庁と協議した結果、土地改良区についても以下枠内の減免基準の条件を満たせば、減免措置の対象となると整理されましたのでお知らせします。

なお、平成24年度分の減免措置の申請は既に終了しましたが、平成25年度分の減免措置の申請は、本年11月1日から11月30日の間に経済産業省地方経済産業局に行う必要があります。

○減免基準 (以下a～cの3つの基準を全て満たす必要があります)

- 売上高千円当たりの年間の電気使用量が5.6kwhを超えること
- 事業所ごとの対象事業の電気使用量が100万kwhを超えること
- 対象事業の電気使用量が事業所全体の電気使用量の過半を超えること

○経済産業省資源エネルギー庁の見解

- 減免措置の対象から土地改良区を排除していない。
- aの基準について

- ①売上高(分母)について、賦課金だけでなく収入科目の何を計上するかは、要検討。
- ②年間の電力使用量(分子)については、土地改良区が管理する施設に係るすべての電力使用量を対象とする。

3. bの基準について

事業所とは、土地改良区単位ではなく、電力の受給契約ごと(施設ごと)で判断する。施設ごとにて、年間の電気使用量が100万kwhを超える場合が対象。

4. 売上高については、公認会計士、監査法人、税理士又は税理士法人の確認を受けたことを証する書類を添付することが必要。

農業に使用する農業用A重油及び軽油の免税・還付措置

土地改良区は農業用A重油(2.04円/ℓ+温対税)、
軽油(32.1円/ℓ+温対税)の免税・還付措置の対象です。

A重油	本体価格	石油石炭税 2.04円/ℓ	地球温暖化対策税 0.25円/ℓ
軽油	本体価格	石油石炭税 2.04円/ℓ	軽油引取税 32.1円/ℓ

地球温暖化対策税0.25円/ℓ



土地改良区が使用する揚水機、バックホー、草刈り機など、土地改良施設の維持管理のために使用する農業用A重油と軽油は、次の石油諸税が免除されます。

《免除される税目》

区分	税目	税率	適用期限
農業用A重油	石油石炭税(国税)	2.04円/ℓ	平成26年3月
	石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税(国税)	0.25円/ℓ	平成26年3月
軽油	軽油引取税(都道府県税)	32.1円/ℓ	平成27年3月
	石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税(国税)	0.25円/ℓ	平成26年3月

注:石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税は現行税率。平成24年10月から段階的に引き上げられ、平成28年4月から0.76円/ℓとなる。

お問い合わせは ▶ 農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課団体指導・利用調整班まで 電話03-3502-606

平成24年度 水土里レポーター

平成16年度から、21創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。平成24年度の本県のレポーターは、下記の水土里ネット職員の方にそれぞれ委嘱しご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願いたします。



水土里ネット愛知用水 総務課長 青木 聡
 水土里ネット明治用水 総務課長 岩月 豊
 水土里ネット牟呂用水 主 任 金子 辰矢



なお、投稿いただきました発信情報は、(社)農業農村整備情報総合センターのホームページ「週刊NNニュース(<http://www.aric.or.jp/nnews/nnews.htm>)」などに掲載されております。

農業基盤整備資金の金利のご案内

平成24年8月20日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

貸付金利は貸付時の金融情勢により変動します。最新の金利は名古屋支店農林水産業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

区分	利率一覧(平成24年8月20日現在)				
	借入期間にかかわらず	5年	10年	15年	20年
県営補助残	1.25%	—	—	—	—
団体営補助残	1.10%	—	—	—	—
非補助	1.10%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.40%	0.65%	0.95%	1.10%

研修会のお知らせ

研修会名	開催日	対象者	関係部署
技術力向上事業研修会	10月24日～26日	市町村、水土里ネット役職員	企画広報課
水土里ネット役職員研修	1月中旬	水土里ネット役職員	企画広報課

第11回

あいちの農業・農村 フォトコンテスト

募集

愛知県の活力ある美しいむらづくりのための農業農村整備事業を広く県民に紹介すると共に、理解と促進を図るため、広報キャンペーンの一環として作品を募集します。

テーマ

「水土里が育むあいちの農業・農村」

賞

水土里のフォト大賞	1点(賞状、副賞3万円)
水土里のフォト優秀賞	2点(賞状、副賞1万5千円)
水土里のフォト入選	10点(賞状、副賞5千円)
農地・水保全管理活動特別賞	3点以内(賞状、副賞1万円)
水土里のフォト参加賞	参加者全員(記念品)



応募締切

平成24年11月30日(当日消印有効)

詳細は、水土里ネット愛知ホームページ(<http://www.aichi-doren.or.jp/>)をご覧ください。

残暑お見舞申し上げます。



会長 神谷 金衛
副会長 浜田 一徳
専務理事 青木 章雄
代表監事 白木 実夫
外役職員一同

